

# 南の風



柏市立風早南部小学校  
校長 伊藤 喜美子



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、  
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子



## 始まりの春

毎日厳しい寒さが続き、春の訪れが待ち遠しい日々ですが、暦の上では立春を迎えました。校庭の木々や花たちは、まだ眠っているようですが、やがて花開く準備をしているかのようです。

さて、今月の全校集会では、立春にちなみ次のような「節分」の話をしました。

みなさん、2月3日（土）は節分ですね。では、節分は1年に何回あるでしょう？というクイズに子どもたちの反応は様々・・・実は、節分は年に4回あります。節分はもともと「季節の変わり目」の前日を指すもので、立春・立夏・立秋・立冬の暦の上の春夏秋冬に変わる前日を指していました。特に、立春が新たな1年の始まりとされ、大切にされていたことから、いつの間にか節分はこの2月と言われるようになりました。節分と言えば、「豆まき」ですが、なぜ、豆をまくのでしょうか？諸説ありますが、豆は、「魔滅」に通じ、昔は、病気や災害などの恐ろしいことは、鬼の仕業と考えられていました。鬼に豆をぶつけることにより、邪気を払い、1年の無病息災を願う意味合いがあるからです。また、節分に自分の年齢分だけ、または一つ多く豆を食べることで福を取り込み、体が丈夫になり、風邪を引かないとも言われています。



節分と立春を一つの区切りとし、新たな1年の始まりとして1月に立てた目標やめあては守れているでしょうか？もし、うまくいっていなかったり、忘れてしまったりしていたら、改めて今年目標を考えてみることも大切であると、節分の話から子どもたちに伝えました。

「2月は逃げて走る」とよく言われますが、4月になれば何もしなくても学年が一つ上がります。この時期に1年間のまとめをきちんとし、今年や次の学年での自分の目標や挑戦したいことをもつことは、次の学年への良い準備期間となります。

いよいよ令和5年度も残り2カ月。特に6年生は、残り僅かな小学校生活となりました。新しい学年を迎える前に、節分を一つのきっかけにして自分自身を振り返り、子どもたち一人一人がさらに成長できるように見守っていこうと思います。引き続き皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

